

作成日：R7 年 10 月 10 日

令和 7 年度第 7 回 高松圏域自立支援協議会 運営会議議事録

| | |
|-------|---|
| 日付 | 令和 7 年 10 月 10 日(金) |
| 時間 | 9:20~10:50 |
| 開催会場 | かがわ総合リハビリテーション福祉センター研修室 |
| 参加機関等 | 高松支援学校、高松市健康づくり推進課、三木町福祉介護課、直島町住民福祉課、地域活動支援センタークリマ、ヒトトコ、障害者地域生活支援センターほっと、相談支援事業所ライブサポートセンター、障害者生活支援センターたかまつ、地域生活支援センターこだま、障害者生活支援センターあい、一般社団法人garyu、相談支援センターりゅううん、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 順不同 計 18 名 |

議題 1：香川県自立支援協議会より

| | |
|----|---|
| 議事 | <p>初任者研修が開始された。25、6 名が受講予定。</p> <p>障がい児相談に関する課題が出ることが多い。児童発達支援等について、保護者が目的がはっきりしないままに利用を進められ、サービス利用開始に向けて、十分に意向が整理されないまま、相談支援専門員が計画をたてるという状況があるのではないかと指摘が多い。このような点において高松圏域における状況を確認の上、県の協議会に報告できればと思っている。</p> <p>障がい児相談におけるアセスメントのスキル向上等への取組みなどの意見を協議したい。</p> <p>→・事業所自体も集客のために、本来療育の必要の有無からのアセスメントが出来ていないこともあるのではないかと。障がい福祉サービスの役割や目的などを事業所への啓発も必要なのではないか。</p> <p>→・障がいサービスの敷居が低くなっている現状がある。卒業に向けたプランが必要。(18 歳まで絶対に使うものではない)卒業アセスメントのスキルが相談支援専門員には求められると感じる。</p> |
|----|---|

| | |
|--|---|
| | <p>→・不登校でもデイに行くケースが増えているように感じた。</p> <p>→・利用が増えるような仕組みではある。</p> <p>→・意見書で申請する方が増えている印象はある。必ずしもデイが必要なのかは疑問。幼児期であれば、医療の療育や個別に専門性が高い方からの訓練の時間の方が大切ではないかと感じるが、医療も空きが少ない状態であり、何かを利用する方がよいという理由で障がい福祉サービスを利用しがちである。</p> <p>→・学童期の方は、学童クラブの感覚で利用できると良いだろう。</p> <p>→・福祉だけで考えるのではなく、様々な分野と協議していくことも必要だろう。</p> <p>→・PT、ST が利用できないので代わりに児童発達支援や放課後等デイサービスを利用するといったケースも多い。</p> <p>出た意見を踏まえて、県の自立支援協議会でも協議をしていくこととする。</p> |
|--|---|

| | |
|----------------------|--|
| <p>議題 2： 各部会活動報告</p> | |
| <p>議題</p> | <p>※上半期の振り返りと下半期の目標などについて (就労支援部会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B 型事業所部会と合同で選択支援事業についての研修会を行い、好評であった。今後も何かの企画でコラボしたい。 ・就労選択支援事業(別紙)について、10 月から 3 事業所が事業開始。 ・中部支援学校については、B 型アセスメント→選択支援事業に移行していく。高松市では、40 名程度の卒業生が選択支援事業の必要があり、今後どのように取り組むかが課題。 ・今年度の卒業生については、東部支援学校以外は従来の B 型アセスメントを実施。 ・10 月にコア会議を実施し、11 月に行政、学校関係などと今後の実施について検討する場を持つ。※その際に、東部支援学校が実施したスケジュールを参考にして行きたい。 <p>※西讃の方は全く進んでおらず、協議もされていない様子。</p> <p>→自己負担上限額の取扱いについて：高松市からは明確な“者みなし”についての結論はできていない。</p> <p>※概算では 20 日間利用すると 24,000 円くらい自己負担が発生する可能性がある。</p> <p>※東かがわ市、さぬき市、三木町は者見なし対応とした。障がい福祉サービ</p> |

スの中で就労選択支援事業のみが者みなしで対応している。

※就労アセスメント審査会などについて B 型事業所部会が参画することはないのか。B 型事業所の意見を反映させる機会はないのか。

→・相談支援事業所部会の中では、共通理解できている。

(精神保健福祉部会)

- ・上半期は、下半期の企画準備を行った。支援者交流企画については、医療機関を回って PR を実施した。
- ・ピアサポート活動推進委員会では、協議会の HP の中での見やすさなどを検討。

(相談支援事業所部会)

- ・新しい事業所が増えたので、安心して参加してもらえそうな部会とすることに取り組んだ。
- ・ニーズに合わせた GSV、研修などバランス良く運営できた。
- ・医ケア部会と連携した GSV 等も取り組んできた。
- ・部会にもエリアミーティングにも参加していない事業所もあり、どのような状況にあるのか不明な点はある。

(身体障害者支援部会)

- ・部会のあり方について検討。身体障害がある方の課題をどのように集約していくのかを下半期に検討する予定。

(知的障害者支援部会)

- ・予定通りに部会開催ができ、9 月には当事者参加の部会を開催。
- ・当事者のニーズや悩みを聞き出していくのかを目的としている中で、グループワークの中では意識した取組みを行った。
- ・11 月当事者参加の部会を実施予定。仕事や困ったときの相談先などについて講義内容を検討している。

(発達障害部会)

- ・リーフレットの案を決定し、下半期に作成する。

(こども部会)

- ・児童発達支援、放課後等デイサービス事業所連絡会を 11 月に実施する企画を行っていた。
- ・教育機関の情報、事業所の情報などについて不足している課題があり、②回目の連絡会では教育センターに参画頂くことを企画している。
- ・保育所等訪問の課題については、部会から学校に訪問し、その後の状況について確認。学校に電話したものの、この件は解決したため、訪問は断られた。詳細については確認できない。
- ・今年度中に可能であれば、保育所等訪問支援事業をしている事業所同士

で集まる機会をもつ案があるため、次回の部会で確認することとしている。

※強度行動障害でも学校と福祉の連携を国も注視。学校と福祉の連携については必要だが十分に進んでいない現状を打破する必要があるだろう。

※次回の教育にも参画頂く連絡会の企画についての詳細は決まっていない。11月連絡会の周知の中に、2月の企画も伝え、教育にむけた質問等のアンケートを添付しているため、その結果を基に内容を整理していけると思う。

(医療的ケア部会)

- ・質の向上と高松市の医ケア台帳作成。
- ・在宅生活やライフステージなどに応じた課題について部会内で共有出来た。
- ・フォローアップ研修では12月実施。今後は県主催で年1回実施予定。

(居宅サービス事業所連絡会)

- ・7月にイベント実施。15%程度しか参加してもらえない。
- ・高次脳機能障害をテーマに実施できた。参加率が低いいため、このような情報を共有することができないのが課題。
- ・下半期は映画上映。知的障害者の地域生活、自立サービスをテーマとする。居宅介護の範囲を中心として研修を開催予定。
- ・部会の広報誌を作成し、参加事業所が増えることを期待。

(当事者会・家族会部会)

- ・上半期は合理的配慮についてサポートファイルかけはしを使って勉強会、ナイスハートバザールで啓発を行った。
- ・下半期は権利擁護部会の研修会に参加し、合理的配慮の啓発を行う予定。

(B型事業所部会)

- ・より関係性を深めるような企画を実施。(懇親会、情報交換会)
- ・座談会の参加は少なめであったが、より密接なやりとりができた。今後、意思決定支援などを勉強したいという希望がある。
- ・下半期は座談会を実施。就労選択支援事業の情報収集なども他部会と協力して把握していく予定。
- ・B型事業所の新規利用の方はすでに就労選択支援事業のプランを立て始めている。

※HPになぜB型事業所の一覧がないのかという意見がある。

(権利擁護部会)

- ・上半期は意思決定支援研修を開催。
- ・12月に三木町で差別解消法の研修を実施。(弁護士講師)
- ・定期的な部会は実施する中で、研修企画にあわせて、好事例の集積、行政との共有などを行う

| | |
|--|--|
| | <p>(グループホーム部会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上半期に2回交流会を実施。今後さらに参加を促す努力をする。 ・グループワーク特有の職員の勤務形態から生じる課題(引き継ぎ等)があることが共通理解できた。 ・日常的な相談ができる事業所同士の関係を部会の中で作っていききたい。 <p>H17年度、R4年度の通知文を確認するのも良いだろう。</p> <p>※グループホームから居宅への質問があり、医ケアの拡大拡大解釈を居宅が実施するのであれば、グループホーム部会も参加してもらおうのどうか。</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上半期、全体会を開催。協議会の現状をより具体的に伝える機会となった。 ・課題について運営会議にてグループワークを実施。 ・R8年度の体制について働きかけており、9月末に各部会から報告を受けている。 ・移動支援ワーキングにて意見をとりまとめ、高松に報告。 ・下半期は、協議会の課題などを共有できる仕組みなどを知るための工夫を検討していきたい。 |
|--|--|

| | |
|---------------------|--|
| <p>議題3：部会編成について</p> | |
| <p>議題</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議にて3ヶ月に1回、新たに挙っている地域課題や部会の運営について等を検討する機会をもつ。 ・当事者団体家族会については連絡会を開催。取りまとめ役を自閉症協会に打診中。 ・医療的ケアの連絡会を開催する(行政も参加)この連絡会で出た課題を事務局に報告する仕組みとする。 ・事業所紹介をホームページで示すのはいかがでしょうか？ <p>※発達障害部会や高次脳機能障害については、センターがあるため、ちゃんと事務局に入っていて吸い上げられる仕組みが必要だろう。</p> <p>※3年度に高松圏域の当事者の意見を作る場を作りたい。</p> <p>※当事者の声をもっと取り上げるような組織になると良いだろう。</p> |
| | |